

阿武隈川水系五間堀川における 次亜塩素酸ソーダの流出について(第3報・終報)

昨日、阿武隈川水系五間堀川(県管理区間)において、次亜塩素酸ソーダの流出が確認されたことについて、その後の状況をお知らせします。

なお、五間堀川の残留塩素が検出されず、魚類等への影響が無いことが確認された事からこれを持って終報とします。

記

1. 概要

- ・発生場所：宮城県岩沼市吹上3丁目5-5-1 TOYO TIRE株式会社 仙台工場
- ・確認日時：15時30分頃(一般から岩沼市へ通報)
- ・事象：タイヤ製造工程で用いる冷却水の滅菌処理に使用している次亜塩素酸ソーダが、何らかの理由で通常より高い濃度で五間堀川に流出(流出は液体約400m³が流出し、そのうち約250ℓが次亜塩素酸ソーダであったと推定)
- ・原因：調査中
- ・被害の概要：魚類数十匹が斃死(10/2 16:00時点) 範囲は別添位置図参照

2. 対応状況

- 10/2 18:10 仙台河川国道事務所に岩沼市から、岩沼中学校付近の橋で複数魚が死んでいるのを発見したとの連絡があった。
- 22:00 仙台河川国道事務所に宮城県から、TOYO TIRE株式会社 仙台工場から流出した次亜塩素酸ソーダが原因であるとの報告。
- 10/3 8:30 TOYO TIRE株式会社にて、原因者(TOYO TIRE株式会社)、河川管理者(宮城県)、水対協事務局(仙台河川国道事務所)が打合せ(以下3機関という)
- 9:30 3機関によりTOYO TIRE株式会社工場内を確認
- 9:50 3機関にて流出元から阿武隈川合流点まで巡視を実施
- ・五間堀川(岩沼市総合運動場付近まで)に残留塩素が無い事を確認
 - ・五間堀川の岩沼市総合運動場付近より下流は、魚類への影響等異常が無い事を確認
- 11:43 巡視終了

3. 今後の対応

- ・残留塩素が無い事から、流出物質の処理は不要
- ・原因者であるTOYO TIRE株式会社が斃死した魚類を回収予定

4. 取水の状況

「かんがい(国営名取川水利事業)」に対し取水を許可している。
取水停止の連絡はしたが、10/2の取水はない事を確認。
本日(10/3)、利水者に対し取水再開が可能である事を連絡済み。

記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【事故に関する問い合わせ先】

TOYO TIRE株式会社 コーポレートコミュニケーション部
電話 072-789-9110 (直通)
きたがわ
担当者：北川

【河川に関する問い合わせ先】

【阿武隈川に関する事】

阿武隈川水系(下流支局)水質汚濁対策連絡協議会
事務局 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号
電話 022-248-4131 (代表)

副所長（河川担当） しぎはら よしたか 鳴原 吉隆（内線 204）
河川管理課長 すがわら たかゆき 菅原 崇之（内線 331）

【五間堀川に関すること】
宮城県 河川課

仙台市青葉区本町三丁目 8 番 1 号
電話 022-211-3172（河川課直通）

河川課長 おおみや あつし 大宮 敦

位置図

確認場所：岩沼中学校付近



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令1 東複、第24号)」